

AIと人間の融和で築く新たな健康社会を目指して

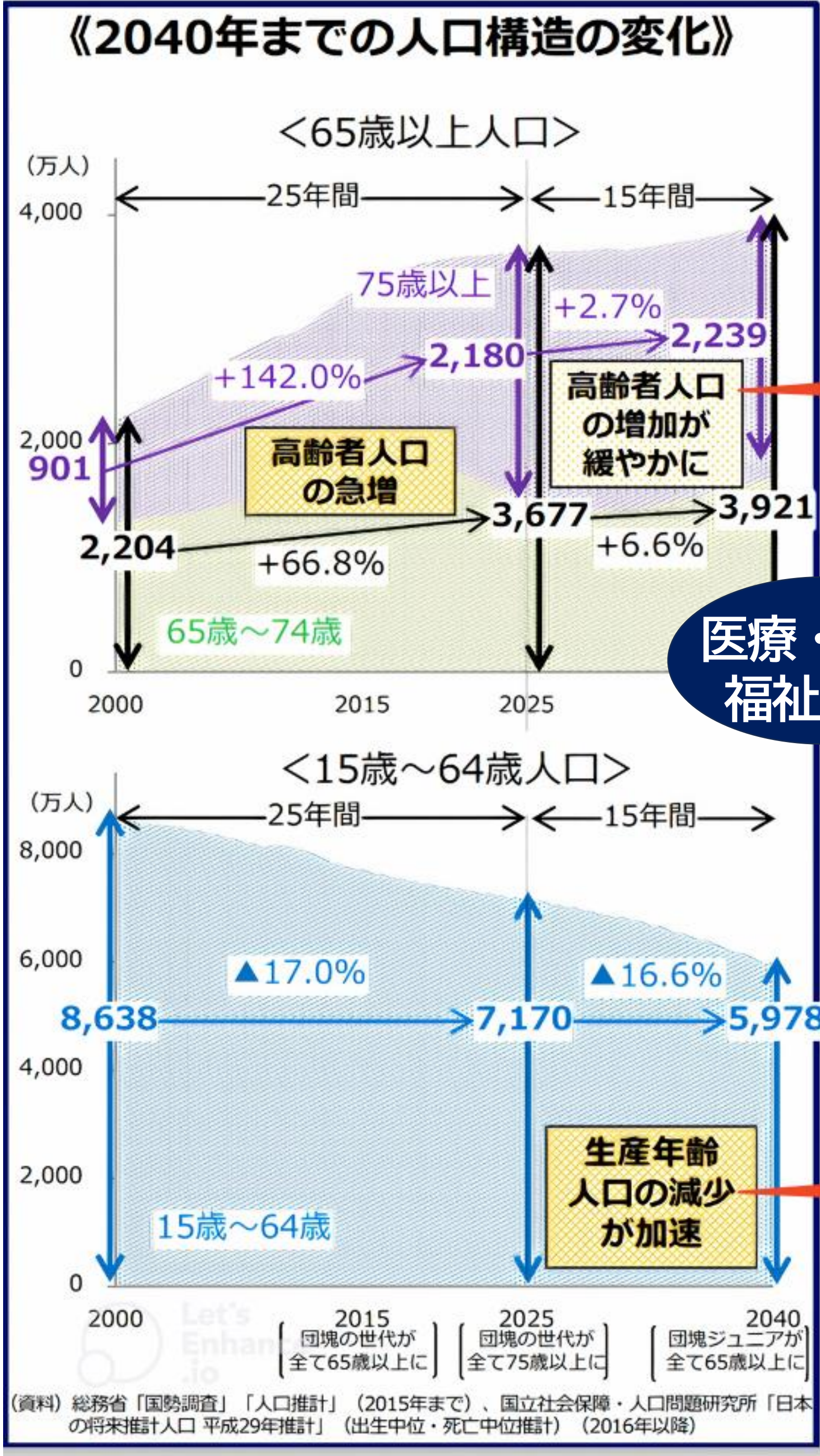
-1億総活躍社会に向けた相互ケアの実現-

- ▶ 素人でも健康サポートや適切なケアの一助を担える、相互ケアの実現を目指す
- ▶ Technologyで人間の「見る」を拡張させ、生活課題への評価・対策の質向上に寄与する
- ▶ ケアを受ける側も社会的役割を創出し、相互的なWell-Being向上社会を目指す

背景

2040年に向けたロボット・AI等の現場活用に向けた実用化構想の検討より

(2040年を展望した社会保障・働き方改革について、厚労省, 2019)



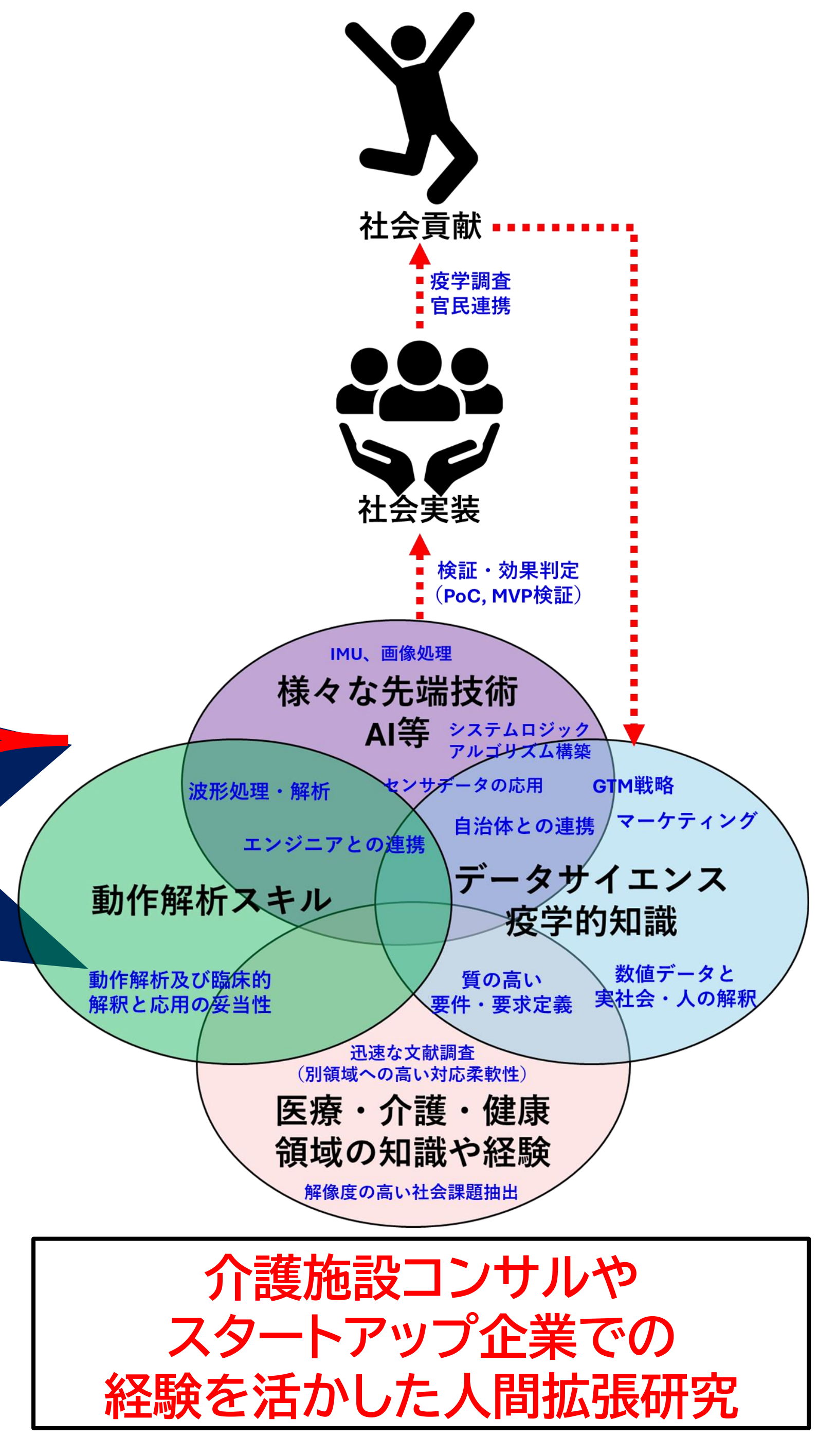
高齢者雇用対策ラボ
高齢者が年齢にかかわらず働き続けることができる社会を目指す

高齢者雇用の促進

医療・介護福祉領域
恒久的で健康的・社会的な役割を創出することがとても重要

労働生産性の向上
生産年齢人口の減少が加速

- データヘルス改革
 - 介護/看護/保育等領域に助手としてシニア層を
 - 施設における業務フローの分析・仕分けを基に、
- ① 介護助手
 - ② 介護ロボット(センサーを含む)
 - ③ ICTの活用等を組み合わせた業務効率化



これまでの研究とこれから

